



Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう



2020年6月8日朝刊

記事を読んで、問いに答えなさい。

**Q** クロマグロの資源管理  
乱獲などで太平洋クロマグロが激減したため、漁業国が漁獲上限を設けて回復に取り組んでいる措置。日本の主漁場の海域を管理する「中西部太平洋まぐろ類委員会(WCPFC)」は2015

年、30歳以上の大型魚の漁獲上限を02、04年平均の水準までに抑え、30歳未満の小型魚を半減とする規制を導入した。こうした措置に基づき国内でも大型魚と小型魚ごとに、漁法別や都道府県別に漁獲枠を配分している。

これにより、例年夏に開かれている国際会議で日本が求める漁獲枠の拡大を前向きに議論する条件が整うことになった。ただ依然として資源が低水準にあることには変わりなく、新型コロナウイルス

管理のため厳しい漁獲枠の不透明な状況だ。高級すしネタや刺身として人気の太平洋クロマグロは乱獲などで資源量が減少。資源

評価は日米などが参加する「北太平洋まぐろ類国際科学小委員会(ISSC)」が今年3月、各国の漁獲データなどを基に算出した。

ただ、資源量はまだピーク時の1961年の15万6千トンは遠く及ばず、歴史的には依然として低水準にある。

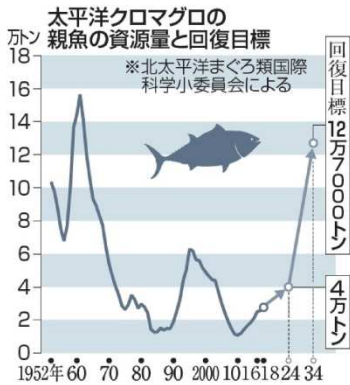
資源枯渇が懸念され親魚の量は2016年千トに落ち込んでいた太平洋クロマグロは推定2万5千トだった。直近の18年は2万8千トまで回復。10万トに戻すという当面の目標を達成する確率が7日分かった。一年に過去最低の1万1

も初めて「100%」と予測した。関連記事18面へ

この影響で会議の開催自体が危ぶまれていることもあり、増枠実現は不透明な状況だ。規制が実施され、2年間に資源量の評価が行われている。今回の評価が

24年までに約4万トに回復させる国際目標の達成確率は、前回評価時は98%だったが、今回100%に上昇した。仮に各国の漁獲枠を1割拡大したとしても、目標達成確率は100%で変わらず、2割増やした場合でも99%の高い確率を維持すると試算。国際ル

## クロマグロ資源目標達成 24年4万トン 国際機関評価



①クロマグロは主にどのように食べられているのか。

②クロマグロの資源が減った理由を記事から読み取って書きなさい。

③クロマグロの資源を回復するために、どのような方法をとっているのか。

④食料資源を守るための取り組みについて、あなたの考えを40字以内で書きなさい(句読点を含む)。


年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校~高校/社会、総合)



Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう



2020年6月8日朝刊

記事を読んで、問いに答えなさい。

## 解答例

Q クロマグロの資源管理  
乱獲などで太平洋クロマグロが激減したため、漁業国が漁獲上限を設けて回復に取り組んでいる措置。日本の主漁場の海域を管理する「中西部太平洋まぐろ類委員会(WCPFC)」は2015

年、30歳以上の大型魚の漁獲上限を02、04年平均の水準までに抑え、30歳未満の小型魚を半減とする規制を導入した。こうした措置に基づき国内でも大型魚と小型魚ごとに、漁法別や都道府県別に漁獲枠を配分している。

これにより、例年夏に開かれている国際会議で日本が求める漁獲枠の拡大を前向きに議論する条件が整うことになった。ただ依然として資源が低水準にあることには変わりなく、新型コロナウイルス

の影響で会議の開催自体が危ぶまれていることもあり、増枠実現は不透明な状況だ。高級すしネタや刺し身として人気の太平洋クロマグロは乱獲などで資源量が減少。資源管理のため厳しい漁獲

規制が実施され、2年間に資源量の評価が行われている。今回の評価は日米などが参加する「北太平洋まぐろ類国際科学小委員会」が今年3月、各国の漁獲データ

を基に算出した。ただ、資源量はまだピーク時の1961年の15万6千トンは遠く及ばず、歴史的には依然として低水準にある。

資源枯渇が懸念され親魚の量は2016年千トに落ち込んでいた。太平洋クロマグロは推定2万5千トだった。直近の18年は2万8千トまで回復。10万トに戻すという当面の目標を達成する確率が7日分かった。一年に過去最低の1万1

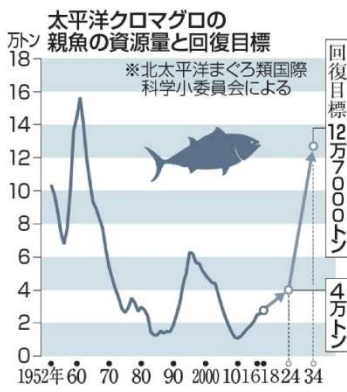
も初めて「100%」と予測した。関連記事18面へ

スの影響で会議の開催自体が危ぶまれていることもあり、増枠実現は不透明な状況だ。高級すしネタや刺し身として人気の太平洋クロマグロは乱獲などで資源量が減少。資源管理のため厳しい漁獲

規制が実施され、2年間に資源量の評価が行われている。今回の評価は日米などが参加する「北太平洋まぐろ類国際科学小委員会」が今年3月、各国の漁獲データ

を基に算出した。ただ、資源量はまだピーク時の1961年の15万6千トンは遠く及ばず、歴史的には依然として低水準にある。

# クロマグロ資源目標達成 24年4万トン 国際機関評価



①クロマグロは主にどのように食べられているのか。

高級すしネタや刺し身

②クロマグロの資源が減った理由を記事から読み取って書きなさい。

乱獲など

③クロマグロの資源を回復するために、どのような方法をとっているのか。

(例) 上限を設けた厳しい漁獲規制の実施と2年ごとの資源量の評価

④食料資源を守るための取り組みについて、あなたの考えを40字以内で書きなさい(句読点を含む)。

(例) 持続可能な食料資源にしていくためには、やはり厳しい規制が重要だと考える。(36字)

資源回復には長い時間を要するから、各国で自主的な規制を進めていく必要がある。(38字) など

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校~高校/社会、総合)